

# 日本鑄造工学会第 188 回全国講演大会技術講習会のご案内

## 「企業の生き残りをかけた戦略～サーキュラーエコノミー(循環型経済)へのシフトと成功事例～」

自動車の EV 化や大手メーカーによる「再生材利用の義務化」の動きが加速するなか、サプライヤーがいかにしてこの激変期を生き残るかは極めて重要な課題です。本講習会では、EV シフト・脱炭素時代における素形材経営のあり方に焦点を当て、発注元から選ばれ続けるための再生材・環境対応について詳しく解説します。

特に、自動車や機械メーカーによる再生金属・再生プラスチックの採用目標と、サプライヤーへの要求動向といった「市場の現実」を紐解きながら、現場における「実務のポイント」まで深く網羅します。実務面においては、鑄造工程から発生する端材に含まれる不純物を低減し、資材として再生しやすくする既存技術や最新の技術事例を学ぶとともに、異なる分野の技術を融合させることで従来の壁を超える「研究・開発マネジメント」への気づきを共有します。さらに、資源再生を効率的に進めるための具体的なヒントとして、電力活用のポイントやバイオコークスの活用事例等についても幅広く紹介します。あわせて、鑄物材の合金成分を維持した微粉や切粉の水平リサイクル(鑄鉄、アルミニウム合金)など、発注元の厳しいサステナビリティ基準をクリアして競合他社との差別化に成功した企業の先進的な対応事例を解説します。同時に、経済産業省の「素形材ビジョン」をもとに、国がこの産業の変革を後押しする最新の産業政策の動向についてもわかりやすくお伝えいたします。本技術講習会が各々の将来の技術活用や技術革新、そして新しい価値への挑戦の方向を見出すきっかけとなることを期待し、多数の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

日 時 令和 8 年 9 月 25 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 15  
場 所 函館工業高等専門学校 1 階 L107 室  
函館市戸倉町 14-1  
参 加 費 会員 12,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 1,000 円 学生非会員 6,000 円  
鑄造技士および鑄造カレッジ在籍者 5,000 円  
非会員の方は入会手続きを行い、会員資格での参加がお得です。  
申 込 方 法 ホームページ内、技術講習会申込フォームよりお申込みください  
定 員 150 名 (定員になり次第締め切ります)  
事前申込締切 8 月 24 日 (月) ※以降は当日受付となります。

### ・・・・・・・・ プログラム ・・・・・・・・

10:00~10:05 開会のあいさつ

大会実行委員長 北海道支部長 清水 一道 氏

講演 1 10:05~11:05

「個」から「群」への転換～地域産業を再生する産学官共創のサプライサイクルエコシステム～

函館工業高等専門学校 清水 一道 氏

講演 2 11:05~12:05 難再生金属端材循環イノベーション活動と産学官連携

埼玉大学 古川 雄一 氏

—— 昼食休憩 ——

講演 3 13:00~14:00 油水分が混入した鑄鉄研磨屑の資源再生と製造現場の意識改革

(株)小松製作所 小川 兼司 氏

講演 4 14:00~15:00 アルミニウム合金ダイカスト工程端材の資源循環活動

トヨタ自動車北海道(株) 岡田 宜正 氏

———— 休憩 (10 分) ————

講演 5 15:10~16:10

鑄造業におけるカーボンニュートラルへの挑戦 — 構造改革を通じた持続可能なものづくり —

ヨシワ工業(株) 吉野 正弘 氏

講演 6 16:10~17:10 GX 時代におけるエネルギー業界の変化 ～ものづくり高付加価値化への貢献～

関西電力(株) 中谷 晴喜 氏

17:10~17:15 閉会のあいさつ

大会実行副委員長 北海道支部副支部長 村瀬 充 氏